第 14 講　幕藩体制の崩壊
PART2 大御所政治

Chapter 1　江戸時代後期の経済発展

目標
生産形態の発展段階を押さえよう。
大坂市場の地位が低下したのはなぜだろう？

1　生産形態の発展

①農村家内工業　（17 世紀）

原料・器具ともに農家の自前で行う手工業。

②**問屋制家内工業**（18 ～ 19 世紀）

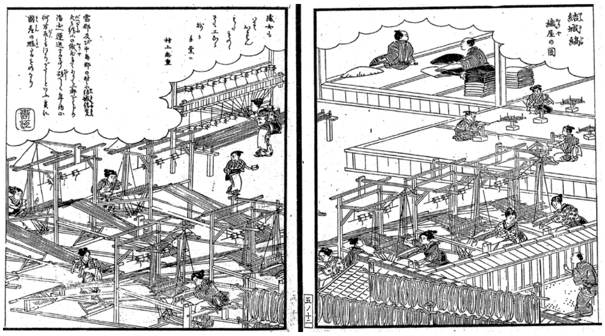
都市の問屋商人が資金・原料・器具を前貸しし，農家で行う手工業。

③［1　　　　　　　　　　］**〔マニュファクチュア〕**（19 世紀）

奉公人〔賃金労働者〕を一か所に集め，**分業に基づく協業**を行う。

※酒造業・鉱業では，17 世紀の段階ですでに存在した。

19 世紀以降，織物業を中心に生産工程の分化と地域的専業化が進展。



尾張国の織物業（マニュファクチュア）

2 商品流通ルートの多様化

①**在郷町**における〔2 〕の成長

A 消費地への直送ルートを開拓

B 都市問屋商人の流通独占に反対

※18 世紀前半，畿内では合法的訴訟である**国訴**を起こす。

②諸藩の動き

藩〔3 〕を実施。特産物 = **国産品**を，江戸を中心とする各都市へ直送。

③**江戸地廻り経済圏**の発達と農村の荒廃

A 幕府が江戸市場の自立を目指し地廻り経済を育成

銚子・野田の醤油，流山の味醂，秩父・八王子の生糸・絹織物，武州木綿，

青梅の材木のように**地廻り物**の特産地が成立。

※在郷商人の成長・階層分化の進行などにより江戸周辺の農民が大量に江戸に流入。

無宿人や博徒が増え，関東農村の荒廃も進む。

※生産力が低下した北関東の農村人口は激減，

逆に生産力が高まった長州藩や薩摩藩では人口が増加するなど，

地域間の格差が広がった。

B 農村荒廃への対応策

倹約・勤勉や道徳を中心とする農政家による復興の試みは，

江戸中心の商品貨幣経済の圧倒的な広まりの中では微力だった。

あ 〔4 〕〔金次郎〕（相模国）の**報徳仕法**

い **大原幽学**（下総国）の**性学**

④「天下の台所」たる**大坂市場の地位低下**

天保期には大坂問屋商人が扱う商品量が激減。

※①②③や，瀬戸内と伊勢湾・江戸を結ぶ尾州廻船**内海船**など，

独自の流通ルートが各地で開拓されたため商品集荷力が低下。

※蝦夷地からの西廻り航路の〔5 〕も栄えたが，

途中で荷を降ろすことも多かった。

まとめ

農村家内工業から問屋制家内工業を経て工場制手工業が広がった。

商品流通ルートが多様化したことで，

「天下の台所」たる大坂市場の地位は低下した。

Chapter 2　内憂と外患

目標
18 世紀前半の「内憂と外患」について知ろう。
大塩の乱が幕府や諸藩に多大な衝撃を与えたのはなぜだろう？

1　大御所政治

松平定信による寛政の改革後，政治的意欲がなく改革を放棄した **11 代将軍**〔1　　　　〕の治世を〔2　　　　　　　　〕という（**1793 ～ 1841 年**）。

※1837 年，将軍職を 12 代将軍家慶に譲り引退後も，
　大御所として実権を握り続ける。

※社会不安が増大する中で，
　江戸を中心に享楽的・退廃的な**化政文化**が開花し，
　この時期は**文化・文政時代**とも呼ばれる。

徳川家斉

①性格

A　文化年間（1804 ~ 18 年）
　松平定信が集団指導制を採っていたこともあり，
　老中松平信明ら“寛政の遺老”が幕政を主導。寛政の改革の質素・倹約政策を継承。

B　文政年間（1818 ~ 30 年）
　老中首座水野忠成が幕政を主導。品位の劣る文政小判を大量に流通させ物価は上昇，
　賄賂政治が横行し，将軍や大奥の生活は華美を極める。

②社会不安→**内憂と外患**

農村・都市で階層分化が進行。無宿人・博徒が横行し，大都市とその周辺の治安が悪化。

A　〔3　　　　　　　　　　〕**〔八州廻り〕**の設置（1805 年）
　幕領・私領・寺社領を問わず，水戸藩を除く関八州の治安維持にあたった。

B　**寄場組合**の結成（1827 年）→治安維持・風俗取締まり
　幕領・私領・寺社領を問わず，関八州の農村 40 ~ 50 か村ごとに組合を結成させる。

C　**異国船打払令〔無二念打払令〕（1825 年）**

D　〔4　　　　　　　　〕**事件　（1837 年）→**〔5　　　　　　　　〕**（1839 年）**

2　大塩の乱と朝廷権威の浮上

①［6　　　　　　　　　］（1837 年）

大塩平八郎

A　原因

天保の飢饉（1833 ～ 39 年）に対する

幕府の無為無策，豪商の米買い占めなどへの憤激。

※ 1836 年の飢饉は特に厳しく，

幕領の甲斐国郡内・三河国加茂でも

一揆が起こった（**郡内騒動・加茂一揆**）。

B　蜂起

陽明学者で，私塾洗心洞を開いていた大坂町奉行所の元与力

［7　　　　　　　　　］と門弟らが，町奉行殺害と豪商の襲撃を計画し武装蜂起。

C　鎮圧

檄文を配布して貧民たちに参加を呼びかけたが，密告や準備不足により，

わずか半日で鎮圧された。

D　影響

あ　幕府・諸藩へ大衝撃を与え**幕府の権威は失墜**

重要直轄都市で，幕府の元役人が主導し，公然と武力で反抗したため。

い　影響は**全国へ波及**

大塩門弟と称した越後国柏崎の国学者による**生田万の乱**（1837 年）のほか，

各地に一揆・打ちこわしを誘発。

※江戸には幕府が御救小屋を多数設置して米や銭を施し，

打ちこわしを未然に防いだ。

②朝廷権威の浮上

国内外の危機的状況に対し，将軍・幕府の権威が失墜すると，

これに代わる上位の権威としての天皇・朝廷が求められ始めた。

※光格天皇や続く仁孝天皇の治世。

まとめ

国内騒動の増加と外国船の接近により

幕藩体制が揺らいだことが「内憂と外患」と呼ばれた。

直轄都市で幕府の元役人が武装蜂起したことは，幕府・諸藩に衝撃だった。

第 14 講　PART 2　確認問題

1　都市の商人が資金・原料・器具を前貸しし，農家で行う手工業はどれか。

①　農村家内工業　　②　機械制大工業
③　工場制手工業　　④　問屋制家内工業

2　17 世紀に酒造業・鉱業で行われていたのはどれか。

①　問屋制家内工業　　②　工場制手工業
③　機械制大工業　　④　農村家内工業

3　勤労・倹約を中心とする報徳仕法を唱えたのはだれか。

①　大原幽学　　②　石田梅岩
③　二宮尊徳　　④　富永仲基

4　江戸時代に栄えた，蝦夷地からの西廻り航路を航行した船はどれか。

①　北前船　　②　内海船
③　尾州廻船　　④　樽廻船

5　大御所政治を行ったのはだれか。

①　徳川家斉　　②　徳川家綱
③　徳川家慶　　④　徳川家治

6 水戸藩を除く関八州の治安維持を目的に, 大御所政治において設置されたのはどれか。

① 人足寄場　② 城代
③ 遠国奉行　④ 関東取締出役

7 幕領の甲斐国で起こった出来事はどれか。

① 元文一揆　② 郡内騒動
③ 加茂一揆　④ 伝馬騒動

8 幕府の無為無策，豪商の米買い占めなどに憤激した大塩平八郎は何学者か。

① 朱子学者　② 国学者
③ 蘭学者　④ 陽明学者

第 14 講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：④　①の農村家内工業は原料・器具ともに農家の自前で行う手工業。③の**工場制手工業〔マニュファクチュア〕**は奉公人〔賃金労働者〕を一か所に集め，分業に基づく協業で行う手工業。

2 解答：②　工場制手工業では，19 世紀以降，織物業を中心に生産工程の分化と地域的専業化が進展した。

3 解答：③　①の**大原幽学**は，道徳と経済の調和に基づく**性学**を説いた。

4 解答：①　②と③の尾州廻船の**内海船**は，瀬戸内と伊勢湾・江戸を結ぶ航路。

5 解答：①　**徳川家斉**は 11 代将軍で，将軍職を 12 代家慶に譲り，引退後も**大御所**として実権を握り続けた。

6 解答：④　①の**人足寄場**は，江戸時代の治安維持政策として，**寛政の改革**で設置された。

7 解答：②　**郡内騒動**は天保の飢饉が厳しかったことにより起こった。③の**加茂一揆**は三河国で起こった一揆。

8 解答：④　**大塩平八郎**は陽明学者で，私塾洗心洞を開いていた。